

平成22年度 第2回 地盤工学表記法委員会  
WG1&WG2合同  
議事録

日 時	平成22年9月6日（水）15：00～17:00					場 所	地下B1会議室		
委員長兼 WG1リーダー	岸田 隆夫	○	委員兼 幹事	伊貝 聡司	○				
委員兼WG1	鈴木 直子	○	委員兼WG1	石井 建樹	×	委員兼WG1	杉本 隆	○	
委員兼WG1	福岡 秀基	○	委員兼WG1	谷 和夫	○	委員兼WG1	大熊 英二	○	
委員兼 WG2リーダー	鈴木 明夫	○	委員兼WG2	久保 裕一	×	委員兼WG2	千葉 久志	○	

(○：出席          ◎：代理出席          ×：欠席          △：未定)

議 題：

1. 前回議事録の確認（資料-22.2.1）
  - ・原案どおり承認された。
2. 委員構成について（資料-22.2.2）
  - ・原案どおり承認された。
3. 用語の定義（JIS化）について（資料-22.2.3～2.6）
  - ・本年度に実施すべきこととスケジュールについて、議論および役割分担を実施した。
  - ・全体スケジュールでは、JGSの改正時期を明示する。
  - ・今年度の作業は、3/18の理事会への上申を目標に進めていく。
  - ・当面の作業として、土質試験関係のJIS, JGSより、定義されている用語および定義することが望ましい用語の抽出を行う。作業分担は以下のとおりとする。

分類（担当範囲）	担当者
試料調整、物理試験	鈴木（明）委員
化学試験	千葉委員
土の分類、透水試験、圧密試験	大熊委員
せん断試験（JGS 0511～JGS 0527）	鈴木（直）委員
せん断試験（JGS 0530～JGS 0561）	杉本委員
安定化試験、試験機用力計	岸田委員長

- ・作業の整理表を作成し、各委員にmailで配布する（伊貝幹事担当）
- ・来年度設置予定の本委員会について、メンバー構成案を作成する（谷委員担当）
- ・上記、作業の結果を、次回委員会に持ち寄る。

4. 標準用語集の出版について

- ・委員長より、旧版の用語辞典が示され、出版のイメージについて議論を行った。
- ・本件については、今後も議論を継続させていく。

## 5. 標準用語（標準キーワード）について（資料-22.2.7～資料-22.2.8）

- ・会告文案、基準部会への上申書案について議論を行った。
- ・標準キーワードの役割を標準用語が担うわけではないので、会告文案を修正する。
- ・修正は、伊貝幹事と杉本委員に一任する。

## 6. 用語審議「試料の乱れ」について

- ・谷委員より示された現在の状況をもとに、議論を実施した。
- ・CENではサンプリング方法により規定されており、実際の試料の乱れについては規定されていない。
- ・土質試験では乱さない試料と再構成した試料、繰り返した試料が対比されており、サンプリングにおける表現とは異なっている。
- ・「乱れた試料」は国語的に適切ではない。「乱された試料」が妥当と考える。
- ・サンプリングと土質試験での試料の乱れに関する用語は、異なる概念であり統一しないという方針もある。
- ・地盤工学に関わる者にとって、乱れの実態や考え方については、概ね共通の認識がなされている。用語として適切なものがないことが問題と考えられる。
- ・現在の規格・基準では、力学的な観点から乱れという言葉を使っているが、化学的な乱れについては定義されていない。「力学試験に適用可能な試料」などの限定した表現を用いる方が正確性を保てる場合もある。
- ・本件は、赤本、青本委員会の判断も重要であるため、表記法として3案程度のたたき台を作成する（谷委員担当）。

## 7. その他

- ・委員会の議事録はHPへのアップを事務局へ依頼済みである。

## 8. 次回委員会

- ・第3回：平成22年11月1日（月）15:00～17:30（3F中会議室）
- ・第4回：平成22年12月20日（月）15:00～17:30（3F中会議室）
- ・第5回：平成23年2月28日（月）15:00～17:30（3F中会議室）

配布資料：

資料番号	資料
資料 22-2-0	議題書
資料 22-2-1	前回議事録
資料 22-2-2	表記法委員構成案
資料 22-2-3	地盤工学用語の規格作成について
資料 22-2-4	赤本JIS用語
資料 22-2-5	青本JIS用語
資料 22-2-6	地盤工学関係_規格_基準一覧
資料 22-2-7	標準キーワード廃止上申書(案)
資料 22-2-8	会告用原稿案（標準キーワード廃止）
資料 22-2-9	試料の乱れに関する用語